

令和5年10月13日

開進三中だより

< 第6号 >

—◆たかましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

主体的に行動する

生徒会役員選挙を経て、今月より後期委員会がスタートします。

生徒会のスローガンに「友愛宣言」があります。

このような宣言をしている主体的な生徒会を、私は誇りに思います。

「友愛宣言」

- 1 いじめについて十分に理解し、周りで起こっているいじめを見ているのではなく、しっかり止めます。
- 2 周りのことをよく考えて、明るい挨拶などの コミュニケーションを大切にします。
- 3 一人一人の個性を認め、お互いに大切にします。
- 4 自己中心的な行動をせず、相手の気持ちを考えて行動します。

この夏、文武両道を実践し、神奈川県代表として甲子園大会に出場した慶應義塾高校野球部。監督の指示は絶対ではなく、部員が自分の判断でプレーすることを歓迎する自由なチームカラーが話題となりました。この大会では学校として103年ぶりの決勝進出を果たし、優勝に導いた監督森林貴彦氏は、こう語っています。

「私が指導するにあたって、もっとも心がけているのは、選手の主体性を伸ばすことです。プロとして野球を続けられる選手はごくわずかですし、仮にプロ野球選手になれても、いつかは現役を引退しなければならず、監督や評論家になれるのはほんのひと握り。つまり、野球から離れたときにきちんと勝負できる人間になっていることが大事なのです。」

「社会で活躍できる人の共通点として挙げられるのは、自分を客観視できること。自分なりのアイデアをもち、自分自身の強みを知り、それを伸ばす努力ができる人は、社会に出てどんな仕事に就こうとも通用します。」

「自分で自分の幸せを理解していることも大事です。これからの社会は多様性が重視される時代です。お金、家庭、仕事のやりがい……。多様な価値観の中で、何が自分を幸福にさせるかを分かっていないと、本当の幸せはつかめません。つまり、集団の中において満足していると、皆と一緒にいることで生まれる相対的な価値観ばかりを重視するようになり、ふと一人になったときに、本当の幸せが分からなくなってしまうのです。大学受験や就職活動、人生の転機となる場面で、それはより顕著に表れます。そういう大人にならないように、高校生の段階から、人生における自分なりの物差しを持つ準備をさせないとい

けません。それはつまり、考える力が自然と身に付くことや、人生の選択肢が増えることにつながります。」

「普段から意識して行っていることが、選手への“問いかけ”です。『どう思っている?』『どうしたいの?』『なぜ、いまはそのプレーを選択したの?』など、プレーの結果を褒めたり、叱ったりするのではなく、意図を聞きます。」

「考える。意見をもつ。理解する。スポーツはこうした作業を頭の中で繰り返していくことが、本来あるべき姿です。スポーツは、体を動かすとともに大変高度な知的作業でもあるのです。」

そして、監督が目指す究極は「ノーサイン」とも言っています。

「野球は毎球がセットプレーで、ベンチからサインを出したほうが有効なスポーツと言えます。問題はそのサインに対する選手の受け取り方。例えば盗塁のサインが出された場合、『そういう指示なら走ります』と思うだけの選手と、『そろそろ盗塁のサインが出ると思っていました』と先読みをして納得する選手では、後者のほうが、頭が働いていることは明白です。」

みなさん、自分の考えをもち、常に自分で判断し、行動したり話したりするというのはそう簡単ではありません。でも、みんなが楽しく暮らせるよい集団をつくっていくには絶対に必要なことです。周りがよい方向に動いている時には自分もその方向に、周りが悪い方向に動いている時には自分はそれを止める方向に、いつもしっかり自分の考えで行動してください。

「友愛宣言」を表明している開三中の生徒ならできると思います。

修学旅行

一日目 奈良 東大寺 法隆寺



一日目は、奈良に向かいクラスごとバスで東大寺の大仏、法隆寺の見学をしました。

二日目 京都市内班行動



竜安寺



平等院



二日目は、班ごとに公共交通機関で移動し班ごとに事前学習で決めた見学場所を巡りました。夕食後、漆塗りの絵付け体験を行いました。

三日目 京都市内タクシー行動



金閣寺

三日目はタクシーで京都市内を運転手さんの説明を聞きながら見学をしました。



渡月橋

開二小あいさつ交流

小中連携活動の一環として生徒会役員と開進第二小学校の児童であいさつ運動を行いました。マスコットのあいさつマンも登場しました。



練馬区青少年育成桜台地区委員会

音楽祭

開進第三中学校の体育館で練馬区青少年育成桜台地区委員会主催の音楽祭が行われました。小学校2校3団体、中学校2校の吹奏楽部とゲストの方が合唱や演奏をしました。本校の吹奏楽部が最後を務めました。

